

はじめに

まずはかゆみを知ろう!  
目次へ戻るかゆみを探点しよう!  
目次へ戻るかゆみをやっつけよう!  
目次へ戻る

このページを印刷する (PDF:130KB)

## ③ かゆみをやっつけよう

## (1) 強いかゆみがある時の外用療法 (ステロイド外用薬やプロトピック軟膏を中心にしましょう)

## 2. 強いかゆみがある時の注意事項

いつもの掻き傷だけでなく、すごくジュクジュクしていたり、水ぶくれがあったり、膿がでていたり、いたみがでてきた場合には、細菌やウイルスが感染していることがあります。このような場合には、皮膚炎の治療に加えて感染症の治療が必要です。すぐに主治医に相談してください。

バリア機能が弱まっていると、皮膚に細菌が付きやすくなります。かゆみが強いときは、1日に2回はシャワーを浴びて、汗やよごれを落としましょう。ただし、石ケンの使用は1日1回だけにしてください。

いつまでもかゆくて夜眠れないとか、ジュクジュクしたしるがずっと続く場合には、成長障害や蛋白漏出を起こして危険な場合もあります。入院が必要かもしれません。急いで専門医を受診してください。



&lt;&lt; 前のページへ

次のページへ &gt;&gt;